

◆これまでの委員会での主な報告内容

【2017. 9. 28修復検討部会】本丸御殿建物の被害状況調査

- ア 昭君之間・若松間之間周辺：【案】木部は床組解体、障壁画を外す、一部荒壁まで落とす、一部の不陸矯正
- イ そのほかの大広間・大台所：【案】壁漆喰・中塗りまで剥いで割れや散りを埋めて直す等
- ウ 数寄屋棟：【案】木部は床板まで解体、荒壁まで解体、不陸矯正 ※石垣修理の際は全解体
 - ☞「建造物は重要文化財ではなく史跡内の復元であるから、ここで重要な遺構は石垣であることを考えると、石垣は現状を維持して、建物だけを取り敢えず修理することが、適当な判断と考える。」

【2019. 9. 13石垣・構造合同WG】石垣の変状から石垣修理検討対象箇所を抽出

→本丸御殿周辺の石垣40面のうち15面を検討対象とする

【2020. 3. 26修復検討委員会】これまでの検討経過・今後の進め方を承認

【2021. 3. 25石垣・構造合同WG】令和3年度復旧設計対象石垣を抽出

→本丸御殿周辺の石垣15面のうち本丸御殿関連建造物直下及び隣接石垣9面を令和3年度復旧設計対象とする

◆今回の委員会での報告・審議事項

1. 令和3年度石垣復旧設計対象石垣について【報告】
2. 本丸御殿下石垣の被害状況・修復履歴について【報告】
3. 石垣復旧工法案【審議】

1. 令和3年度石垣復旧設計対象石垣について【報告】（資料3-1）

- ・本丸御殿（復元建造物）が直接載る9面の石垣を対象
- ・但し、H415の北側隅角部は隣接のH416と一連で崩壊しているため、建造物が直接載らないH416も設計対象とする。

2. 本丸御殿下石垣の被害状況・修復履歴について【報告】（資料3-2）

3. 石垣復旧工法案【審議】

[No.20工区]

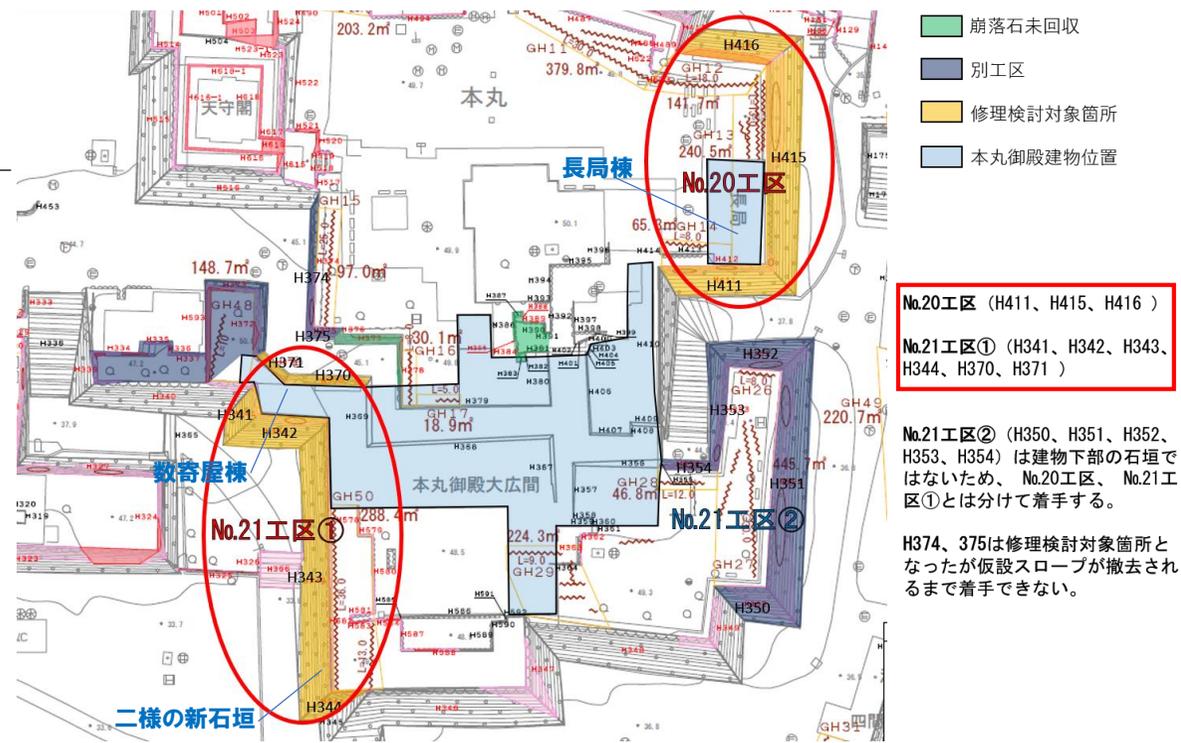
- ・長局棟下石垣 H411・H415・H416
- 上部膨らみ・陥没部に対する解体修理

[No.21工区①]

- ・数寄屋棟下北側石垣 H370・H371
- 抜け・突出石材や間詰石の補完工、石材剝離処理
- ・数寄屋棟下南側西面石垣 H341
- 膨らみ被害が軽微のため経過観察とする
- ・数寄屋棟下南側南面石垣 H342
- 上部膨らみに対する解体修理
- ・二様の新石垣 H343・H344
- 建造物下石垣に被害がないため経過観察とする

◆令和3年度の今後の進め方

- 第3回委員会：復旧勾配・石垣解体ライン案/石材補修工案/石垣耐震診断結果報告
- 第4回委員会以降：崩落築石（H415・H416）復元案/解体石垣補強有無の審議など



- 崩落石未回収
- 別工区
- 修理検討対象箇所
- 本丸御殿建物位置

No.20工区 (H411、H415、H416)

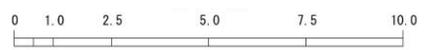
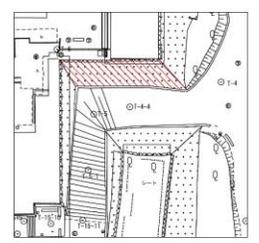
No.21工区① (H341、H342、H343、H344、H370、H371)

No.21工区② (H350、H351、H352、H353、H354) は建物下部の石垣ではないため、No.20工区、No.21工区①とは分けて着工する。

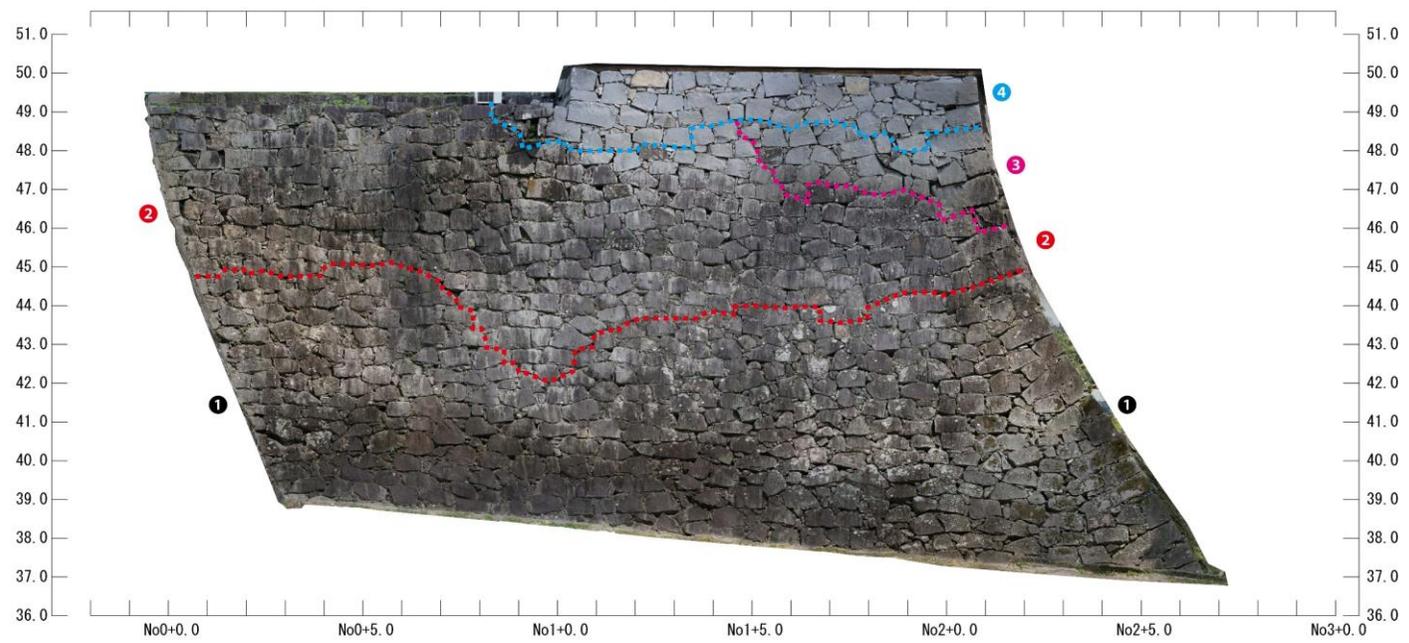
H374、375は修理検討対象箇所となったが仮設スロープが撤去されるまで着手できない。

令和3年度復旧設計対象石垣位置図

オルソ

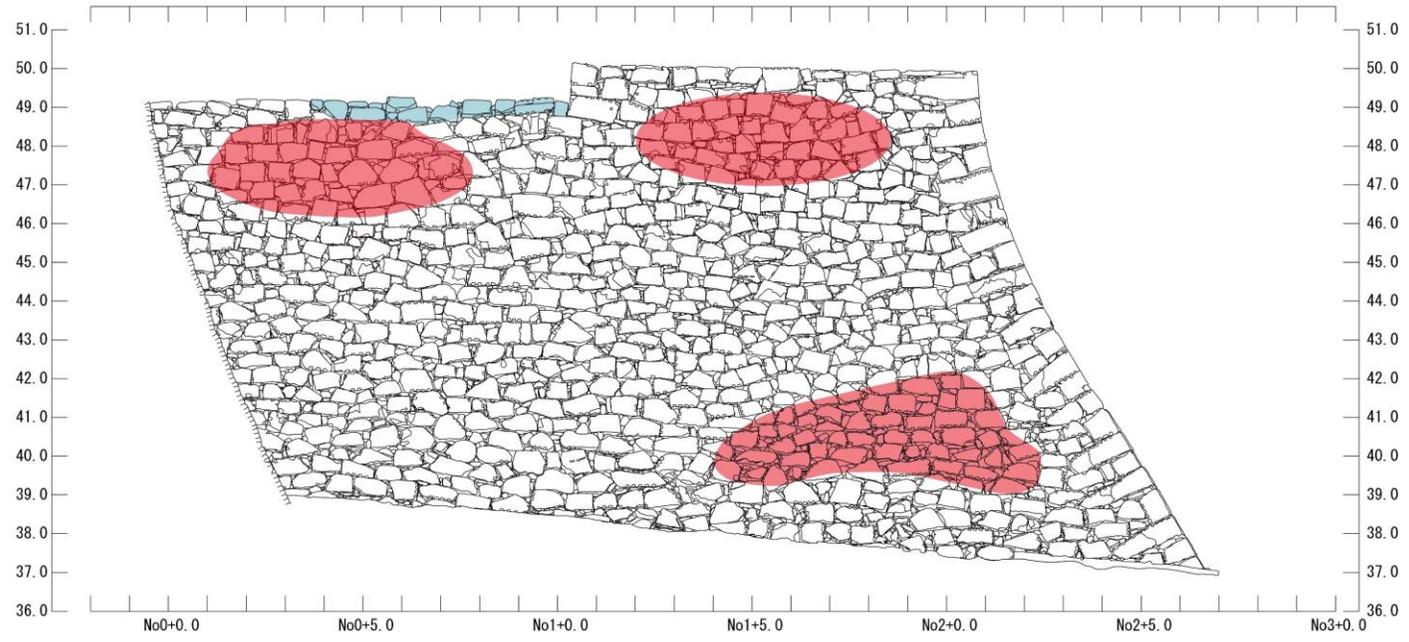


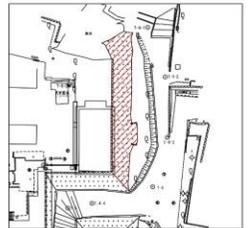
- 《石垣履歴把握について》
- 熊本城石垣 2期 (1599~1600年頃) 【構築当初】
 - 熊本城石垣 4期 (1611~1624年頃) 【修理1】
 - 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理2】
 - 築石部: 横目地通らない→非方形を呈した築石を多く含む
 - 文化財修理(平成期) 【修理3】



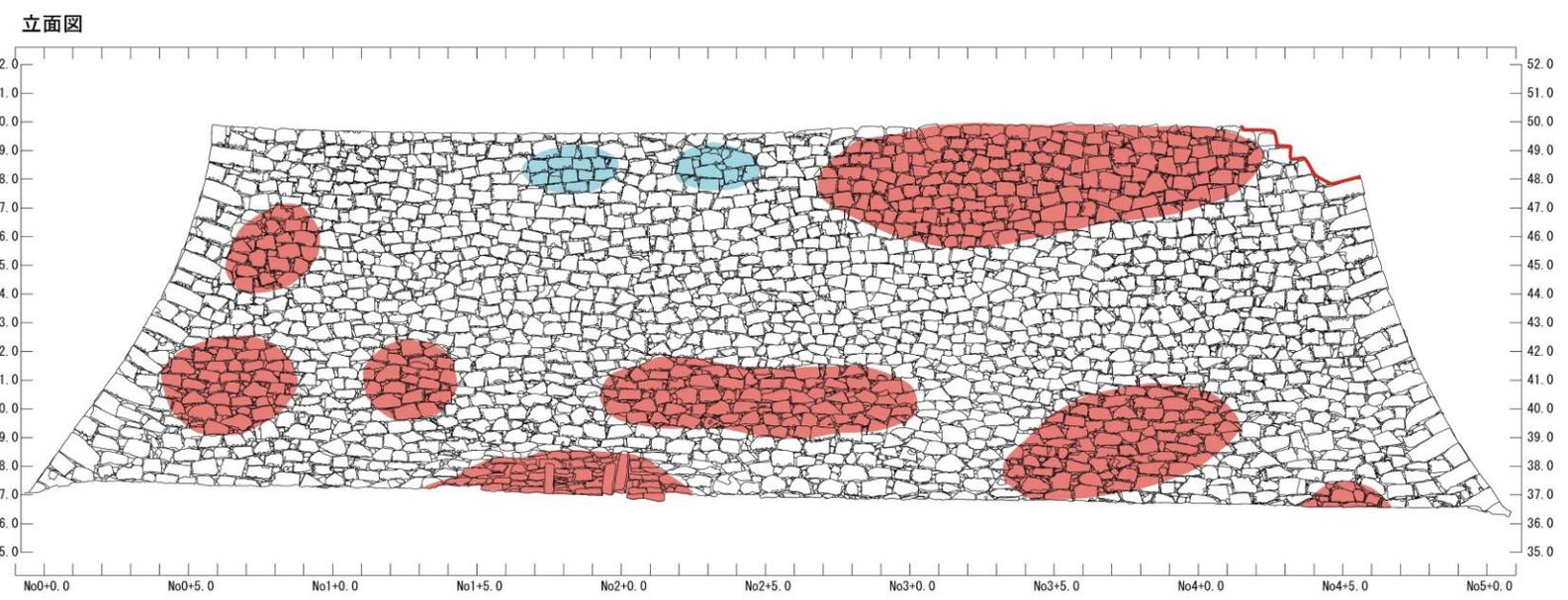
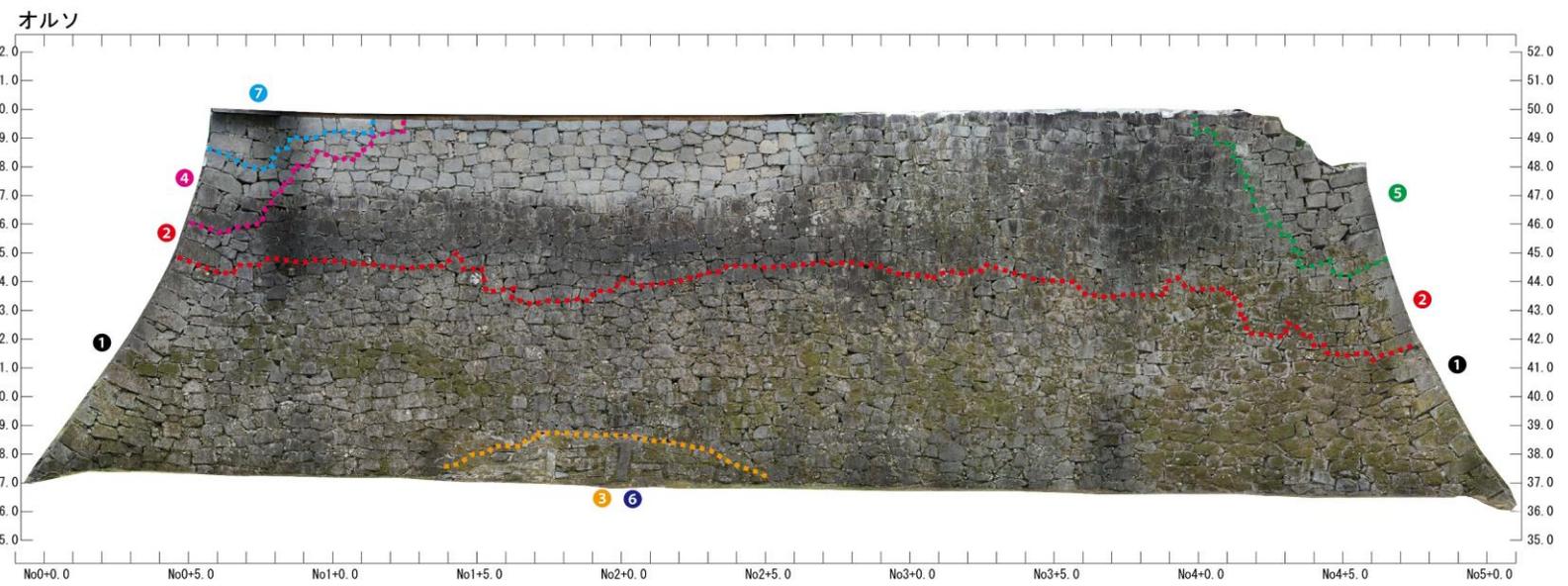
立面図

- 被害状況凡例
- : 変形(膨らみ・緩み)
 - : 間詰石抜け
 - : 突出・ズレ
 - : 割れ・ヒビ
 - : 変形(凹み)
 - : 新補石材
 - : 剥落
 - : 今回の崩落ライン

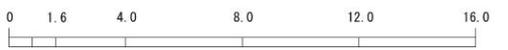


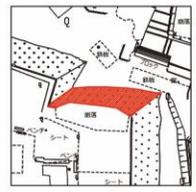


- ◀石垣履歴把握について▶
- ① 熊本城石垣 2期 (1599~1600年頃) 【構築当初】
 - ② 熊本城石垣 4期 (1611~1624年頃) 【修理 1】
 - ③ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 2】
築石部:横目地通りやすい
→長方形を呈した築石が多い(押さえ補強の石垣)
 - ④ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 3】
築石部:横目地通りやすい
→非方形を呈した築石を含む
 - ⑤ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 4】
築石部:横目地通りやすい
→非方形を呈した築石を含む
- ※修理 3と修理 4の新旧関係有無は不明
⑥ 文化財修理(昭和期)【修理 5】 モルタル施工
⑦ 文化財修理(平成期)【修理 6】

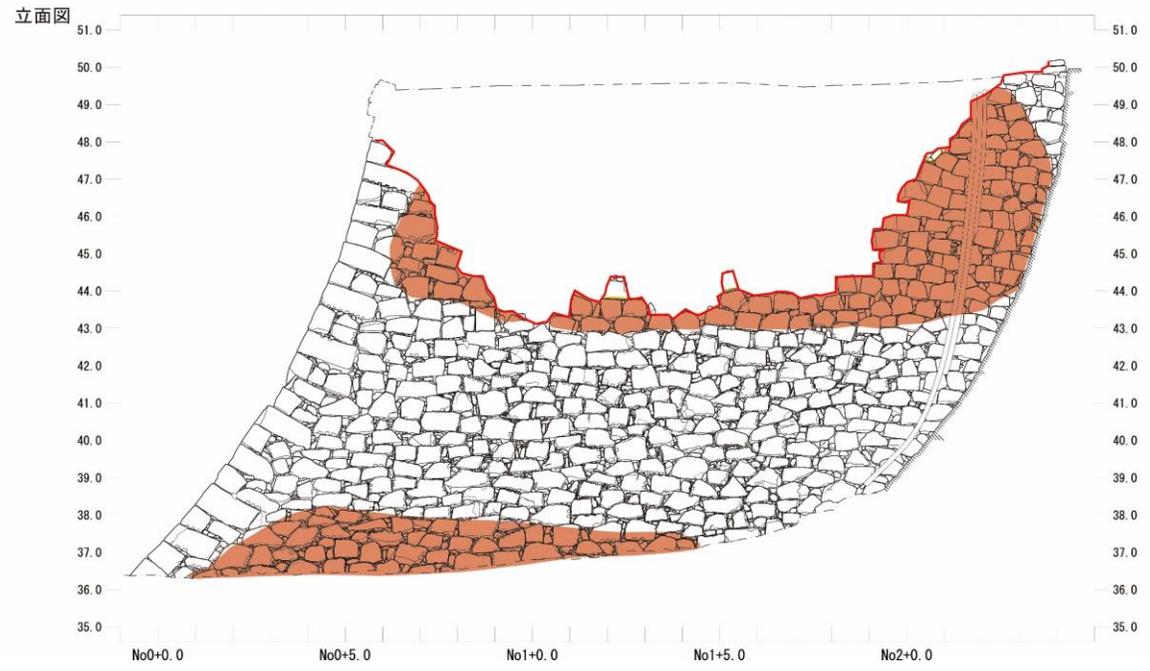


- 被害状況凡例
- :変形(膨らみ・緩み)
 - :突出・ズレ
 - :変形(凹み)
 - :剥落
 - :間詰石抜
 - :割れ・ヒビ
 - :新補石材
 - :今回の崩落ライン

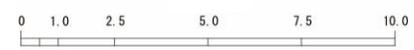


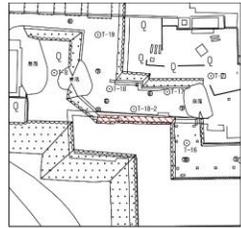


《石垣履歴把握について》
 ① 熊本城石垣 2期 (1599~1600年頃) 【構築当初】
 ② 熊本城石垣 4期 (1611~1624年頃) 【修理 1】
 ③ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 2】
 築石部: 横目地通りやすい→非方形を呈した築石を含む

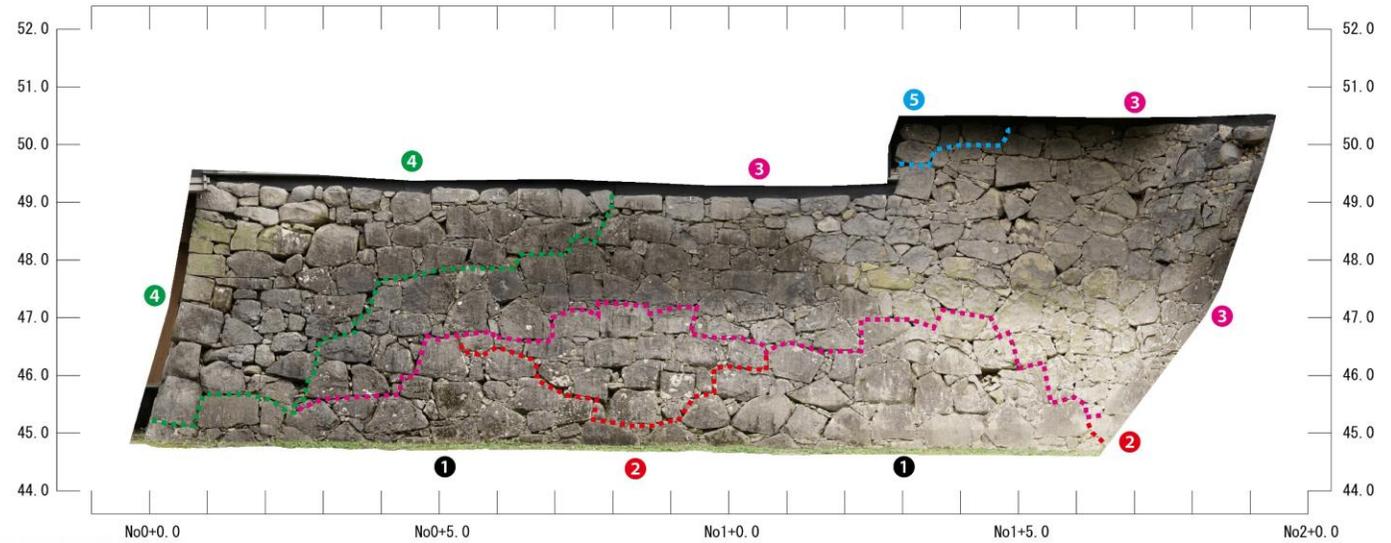


- 被害状況凡例
- : 変形 (膨らみ・緩み)
 - : 突出・ズレ
 - : 変形 (凹み)
 - : 剥落
 - : 間詰石抜
 - : 割れ・ヒビ
 - : 新補石材
 - : 今回の崩落ライン





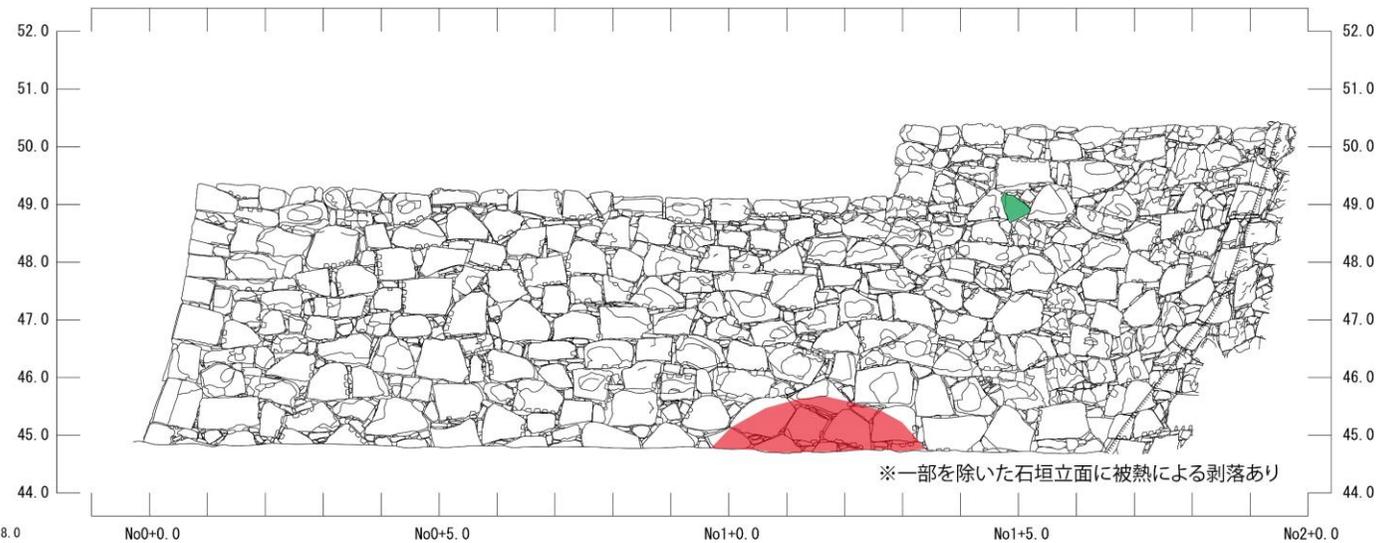
オルソ



《石垣履歴把握について》

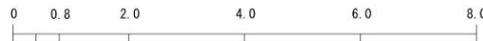
- ① 熊本城石垣 2期 (1599~1600年頃) 【構築当初】
- ② 熊本城石垣 4期 (1611~1624年頃) 【修理 1】
- ③ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 2】築石部: 横目地通らない→非方形を呈した築石を多く含む
- ④ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 3】築石部: 横目地通りやすい→方形を呈した石材が多い(修理 2 築石よりサイズが小さい)
- ⑤ 文化財修理(平成期) 【修理 4】

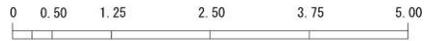
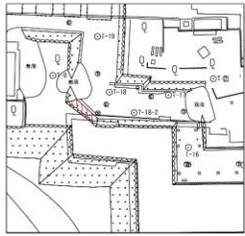
立面図



※一部を除いた石垣立面に被熱による剥落あり

被害状況凡例	
● (Red)	: 変形(膨らみ・緩み)
● (Green)	: 突出・スレ
● (Blue)	: 変形(凹み)
● (Purple)	: 剥落
● (Yellow)	: 間詰石抜け
○ (White with black outline)	: 割れ・ヒビ
● (Brown)	: 新補石材
— (Red line)	: 今回の崩落ライン

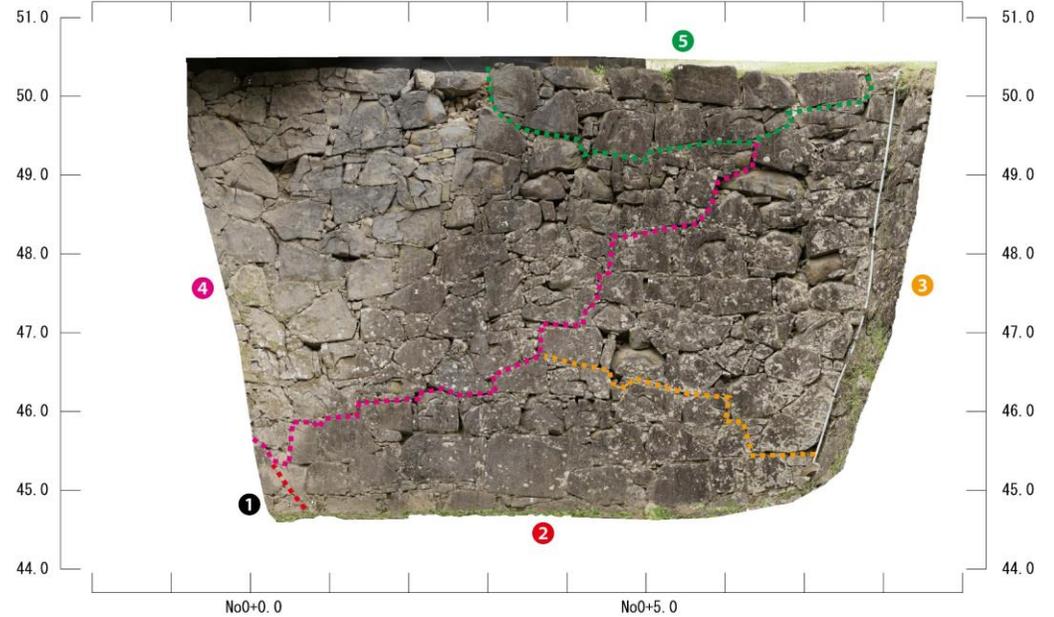




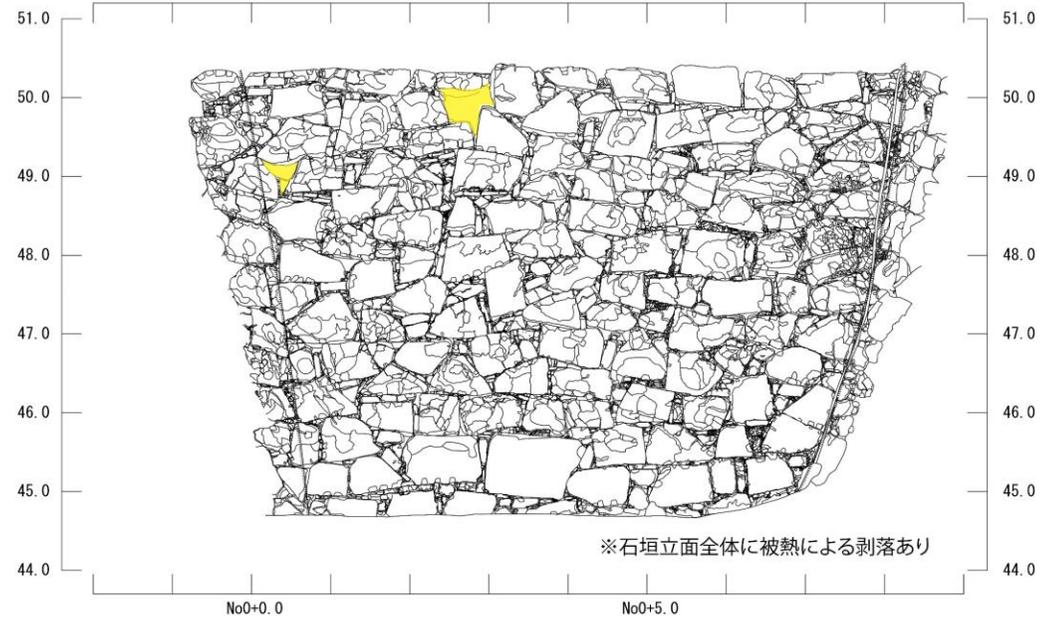
《石垣履歴把握について》

- ① 熊本城石垣 2期 (1599~1600年頃) 【構築当初】
- ② 熊本城石垣 4期 (1611~1624年頃) 【修理 1】
- ③ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 2】築石部:横目地通らない→非方形・方形を呈した築石混在
- ④ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 3】築石部:横目地通らない→非方形を呈した築石を多く含む
- ⑤ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 4】築石部:横目地通りやすい→方形を呈した石材が多い

オルソ



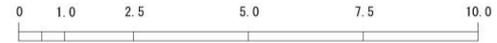
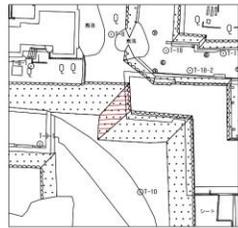
立面図



※石垣立面全体に被熱による剥落あり

被害状況凡例

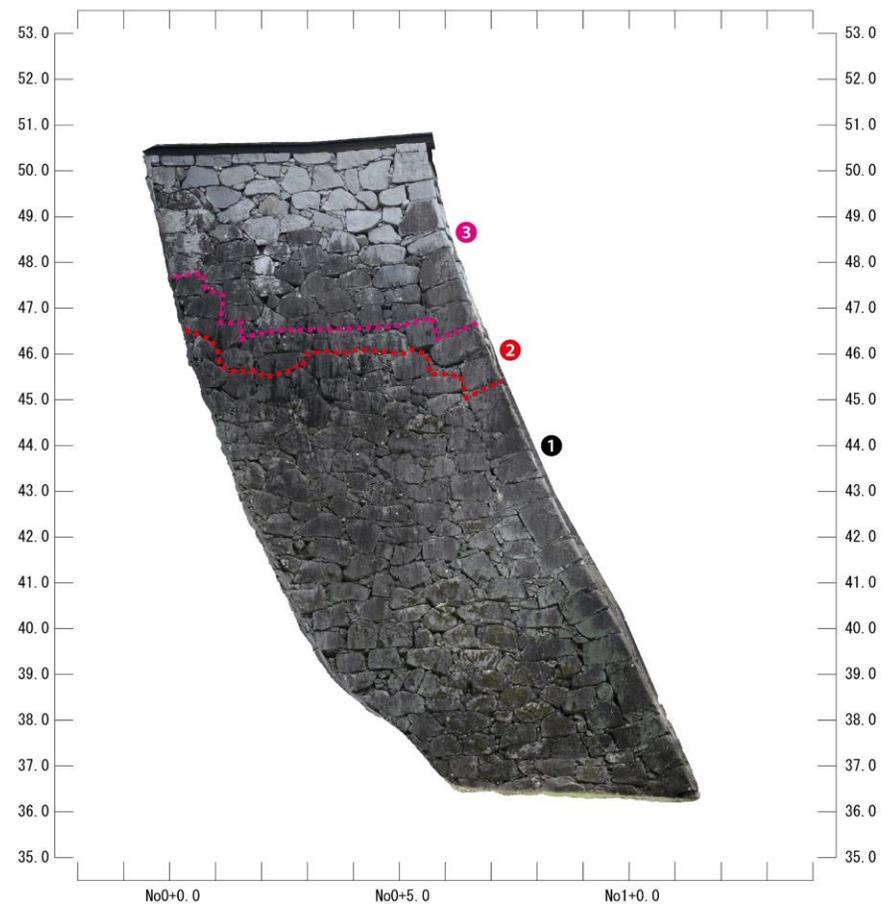
- | | |
|--|--|
| ● :変形(膨らみ・縮み) | ● :間詰石抜け |
| ● :突出・ズレ | ○ :割れ・ヒビ |
| ● :変形(凹み) | ● :新補石材 |
| ● :剥落 | — :今回の崩落ライン |



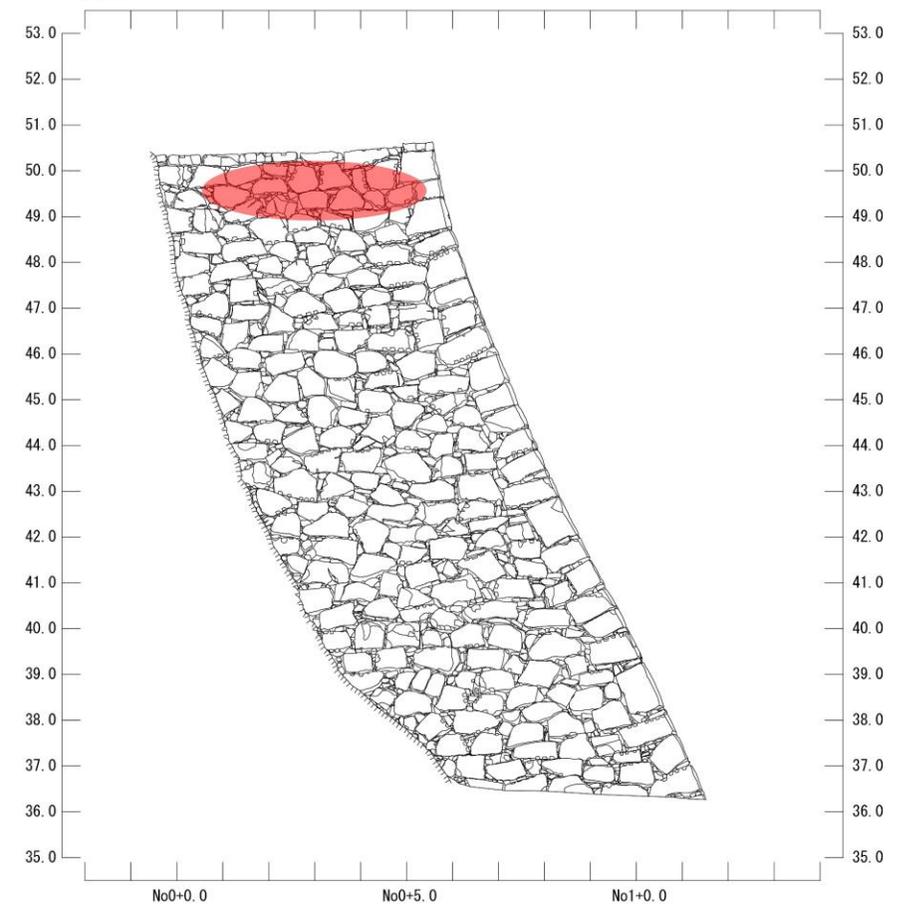
《石垣履歴把握について》
 ① 熊本城石垣 2期 (1599~1600年頃) 【構築当初】
 ② 熊本城石垣 5期 (1625~1632年) か 【修理 1】 築石部: 水平で横目地通る→方形を呈した築石
 ③ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 2】 築石部: 横目地通りにくい→非方形を呈した築石含む

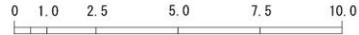
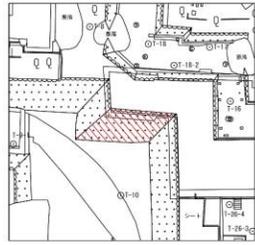
● (赤)	: 変形 (影らみ・緩み)	● (黄)	: 間詰石抜け
● (緑)	: 突出・ズレ	○ (白)	: 割れ・ヒビ
● (青)	: 凹み	■ (黄)	: 新補石材
● (紫)	: 剥落	— (赤)	: 今回の崩落ライン

オルソ



立面図



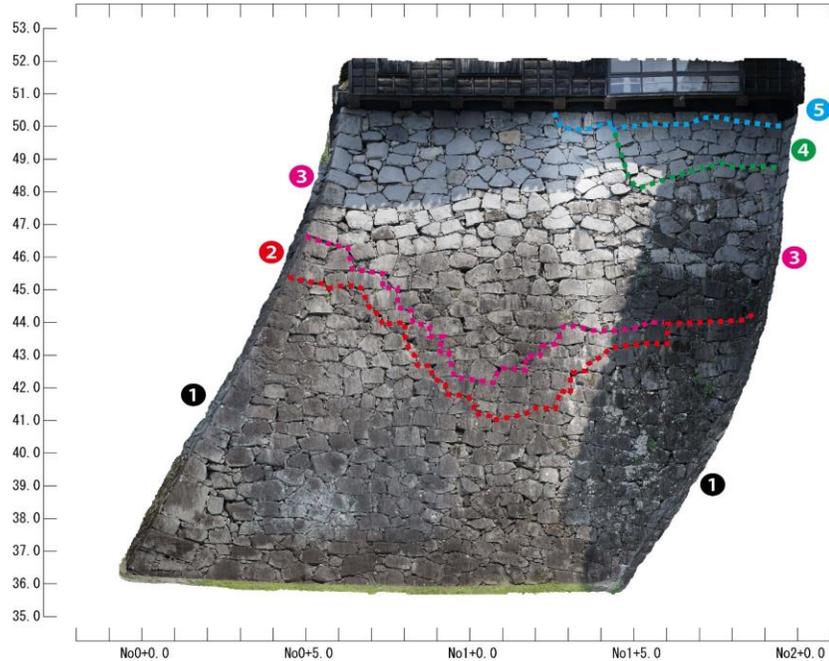


● : 変形 (膨らみ・緩み)	● : 間詰石抜け
● : 突出・ズレ	○ : 割れ・ヒビ
● : 凹み	● : 新補石材
● : 剥落	— : 今回の崩落ライン

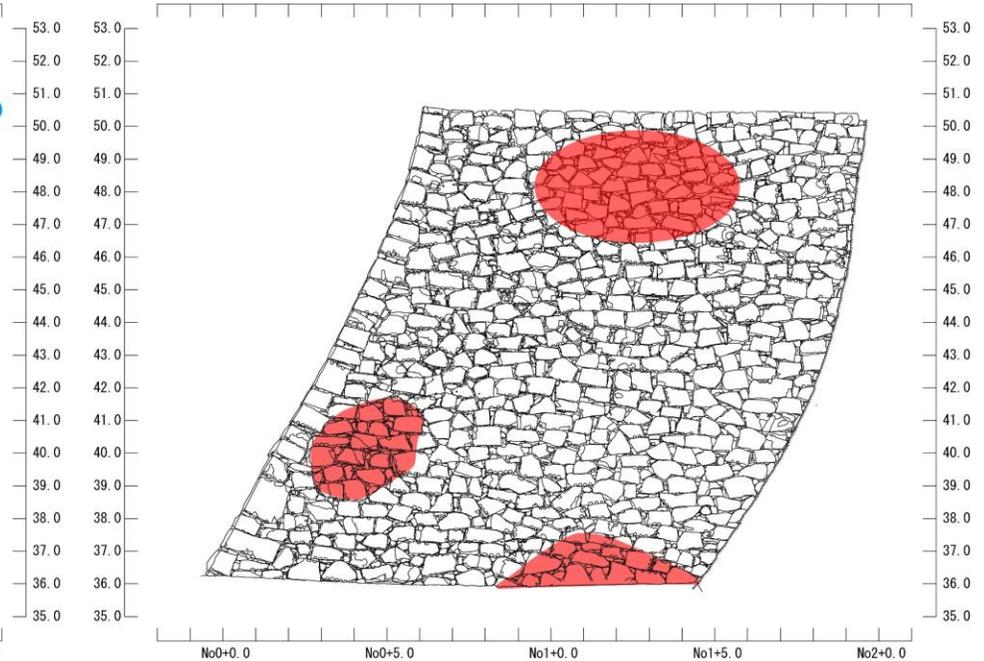
《石垣履歴把握について》

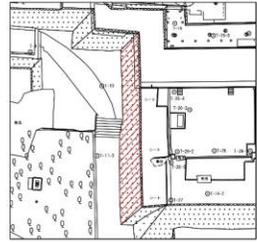
- ① 熊本城石垣 2期 (1599~1600年頃) 【構築当初】
- ② 熊本城石垣 5期 (1625~1632年) か 【修理 1】 築石部: 水平で横目地通る→方形を呈した築石
- ③ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 2】 築石部: 横目地通りにくい→非方形を呈した築石含む
- ④ 熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理 3 (増改築)】 築石部: 横目地通りやすい→方形を呈した石材が多い
- ⑤ 文化財修理 (平成期) 【修理 4】

オルソ



立面図



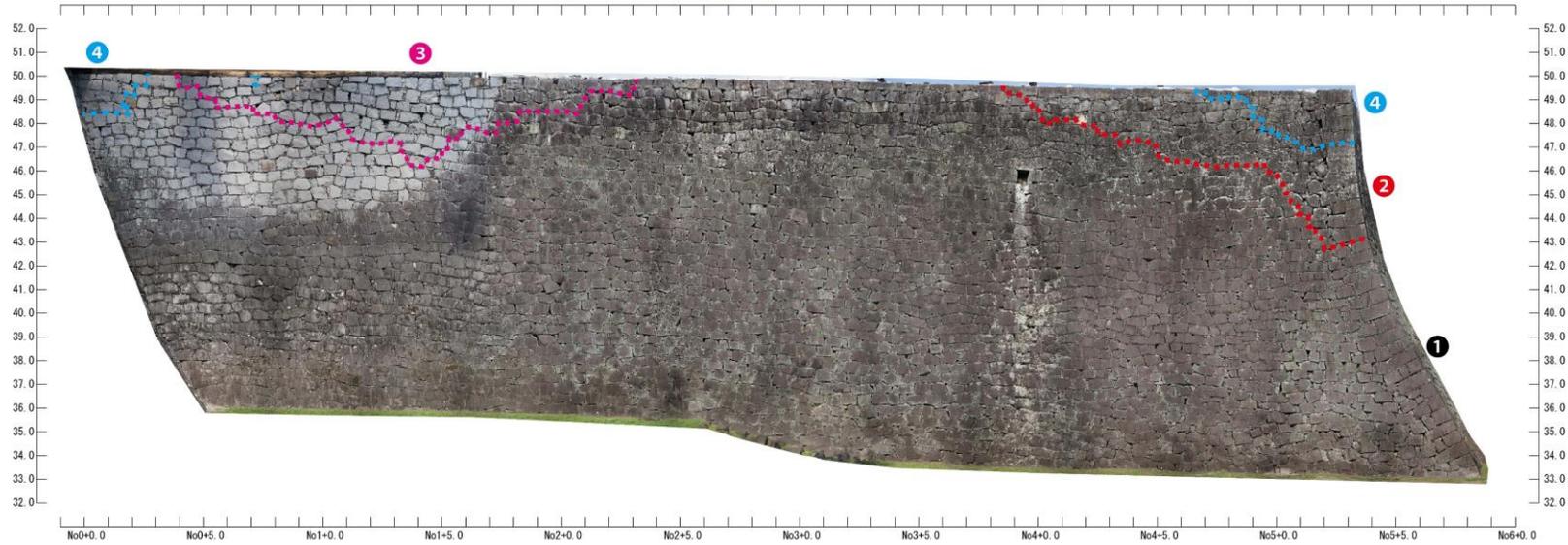


0 2.0 5.0 10.0 15.0 20.0

オルソ

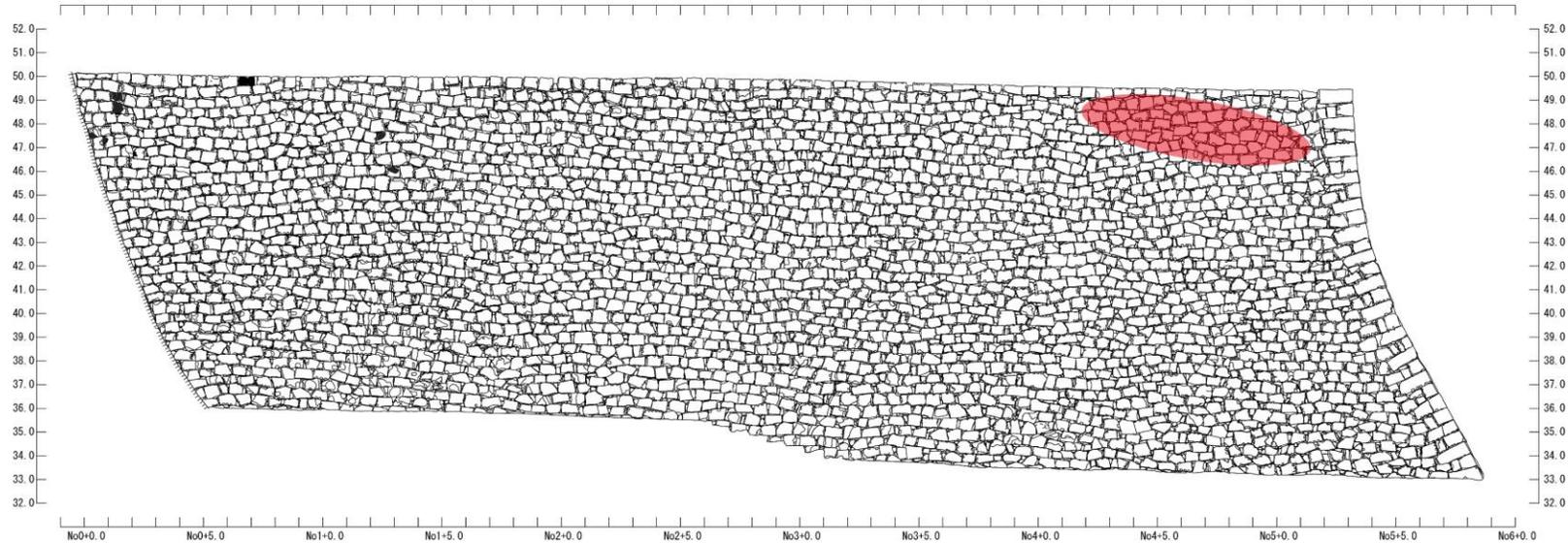
《石垣履歴把握について》

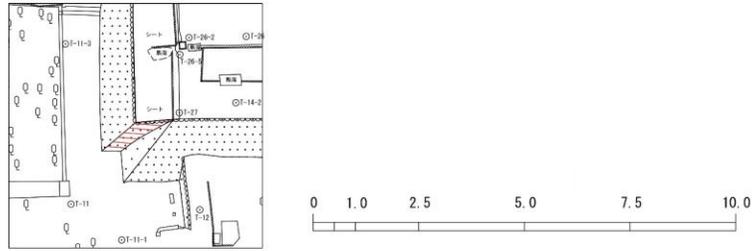
- 熊本城石垣 5 期 (1625~1632年) 【構築当初】
- 熊本城石垣 6 期 (1632~1871年) 【修理 1】築石部: 水平で横目地通りやすい→方形を呈した築石が多いが、上部に非方形石材含む
- 熊本城石垣 6 期 (1632~1871年) 【修理 2】築石部: ●の横目地より少しずれた横目地通る→方形を呈した築石が多いが、一部に非方形石材含む
- ※ 修理 1 と修理 2 の新旧関係有無は不明
- 文化財修理 (平成期) 【修理 3】



立面図

被害状況凡例	
● (赤)	: 変形 (膨らみ・緩み)
● (黄)	: 間詰め石抜け
● (緑)	: 突出・ズレ
● (青)	: 変形 (凹み)
● (紫)	: 剥落
○ (黄)	: 割れ・ヒビ
○ (茶)	: 新補石材
— (赤)	: 今回の崩落ライン

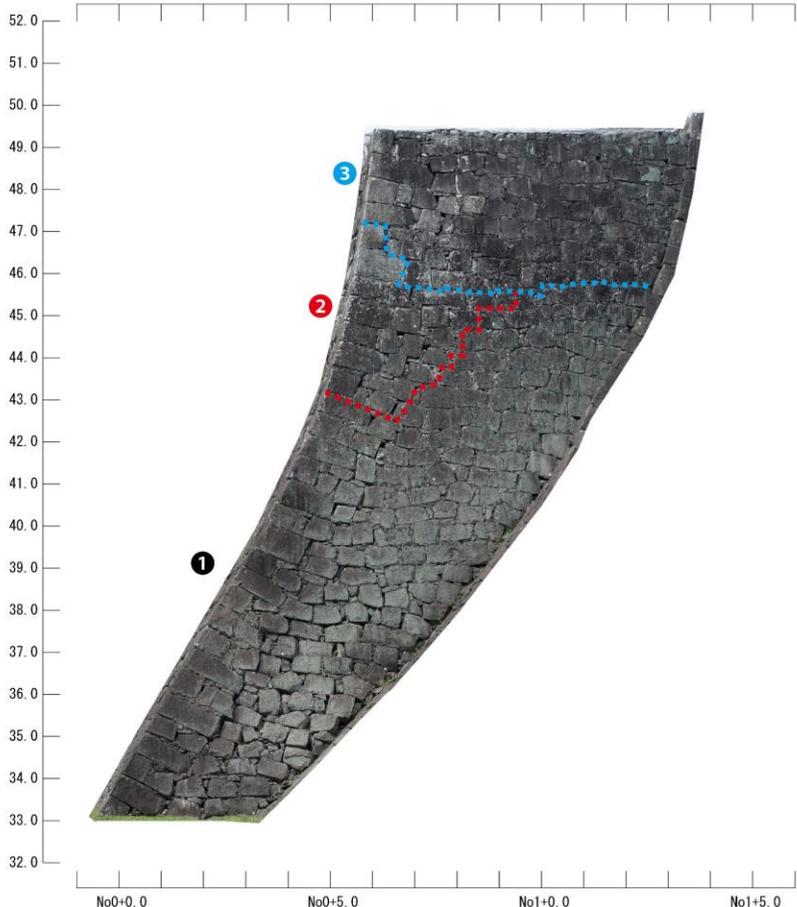




● : 変形 (膨らみ・緩み)	● : 間詰石抜け
● : 突出・ズレ	○ : 割れ・ヒビ
● : 変形 (凹み)	● : 新補石材
● : 剥落	— : 今回の崩落ライン

<<石垣履歴把握について>>
 ①熊本城石垣 5期 (1625~1632年) 【構築当初】
 ②熊本城石垣 6期 (1632~1871年) 【修理1】築石部: 水平で横目地通りやすい→方形を呈した築石が多い
 ③文化財修理 (平成期) 【修理2】

オルソ



立面図

